

第6回地域未来戦略に関する関係副大臣等会議・
地域未来戦略に関する総理報告 議事要旨

日時：令和8年8月28日（金） 11：00～11：30

場所：官邸2階大ホール

（古川政務官）

ただいまから、「第6回地域未来戦略に関する関係副大臣等会議・地域未来戦略に関する総理報告」を開催します。

議事進行役を務めさせていただく、内閣府大臣政務官の古川直季でございます。よろしくお願いいたします。

本会議では、地域未来戦略に関する「三類型」の計画の報告及び地域未来戦略予算パッケージの報告を行います。

初めに、議長の黄川田大臣より「戦略産業クラスター計画」のご説明をいただきます。

（黄川田大臣）

「戦略産業クラスター計画」について、ご報告いたします。

資料1のとおり、九州地域における「次世代船舶」についての戦略産業クラスター計画を策定しました。

こうした、戦略産業クラスター計画をはじめとした、地域の未来を支える「産業クラスター」実現のために、関係省庁と連携してまいります。

（古川政務官）

黄川田大臣、ありがとうございました。

続きまして、各都道府県及び市町村より「地域産業クラスター計画」及び「地域産業成長プラン」を報告いただきます。この後の公務の都合上、ご発言は大変恐縮ですが、一人30秒程度を厳守でお願いいたします。

それでは対面でご出席されている方よりご報告いただきます。

まず、「地域産業クラスター計画」からご報告いただきます。

長野県の阿部知事からお願いします。

（長野県・阿部知事）

長野県におきましては平成26年に「アジアNo1航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定をいただき、航空機の姿勢制御に欠かせない技術を有する多摩川精機をはじめ、超精密加工あるいは、小型・軽量化こうした長野県の企業が得意とする技術の強みを生かして産業集積を進めています。今後は航空機システムあ

るいは宇宙分野のミッションクリティカルな領域を勝ち筋として、部品供給からシステムメーカーへの成長を加速していきたいと考えております。

本県企業が誇る精密加工、小型・軽量化技術を活かして、企業の立地促進、あるいは高度人材育成、実証・試験基盤の強化を一体的にすすめて、「信州エアロスペース・バレーの形成」を進めていきたいと思ひます。

企業や自治体の予見性確保に向け、複数年度の支援が確実に見通せる予算措置をぜひ国には検討いただき、我々地域の挑戦をぜひ後押しいただければと思ひますので、総理を含め皆様方には心からお願い申し上げたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

(古川政務官)

次に、静岡県鈴木知事からお願ひします。

(静岡県・鈴木知事)

静岡県では、県東部の県立がんセンターを核として、ファルマバレープロジェクトに20年以上取り組んだ結果、医薬品・医療機器の生産金額は8年連続で1兆円を超えるという、全国トップクラスを維持しております。

今後は、浜松医科大学や静岡大学を核とする医工連携拠点が形成をされまして、医療機器開発のエコシステムの構築を進めてまいります。

また、中部に製薬企業が集積をしているということで、こうした核をもとに、全県で健康医療産業を育てていきたい。さらに、全県でスタートアップと地域企業のマッチングを推進しておりまして、2030年度までに累計800億円以上の官民設備投資を呼び込んで、世界に貢献する医療健康産業クラスターを形成してまいります。

(古川政務官)

次に、三重県の一見知事からお願ひします。

(三重県・一見知事)

資料2の8ページ9ページでご説明を申し上げたいと思ひます。8ページの右上にございますように、三重県は豊富な水、安定した電力供給、産業用地、そして人材、他県にない優位性を持っているというふうに考えておるところでございます。また、9ページの地図にもございます左上の日本地図ですが、近傍の中京地域、そして近畿圏、これには半導体のユーザー企業が多数立地をしております。昨日、総理もお会いいただきましたけれども、キオクシアは今後6年で5兆円を超える投資を予定されているとも伺っておりまして、このキオクシアを

はじめとして、三重県には 100 社を超える半導体企業がございます。三重県全県を挙げて、日本の成長にご協力をさせていただくように、地域産業クラスターを計画していきたいと思っております。

なお、この際、2 点申し上げたいと思いますが、お願いでございます。企業の投資計画がしっかりわかるように、予算の方も複数年度の予算措置をお願いしたいという点が 1 点と、インフラ整備に関しましては、通常歳出ではなく、別にオントップでの支出をお願い申し上げたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(古川政務官)

次に、福岡県の服部知事からお願いします。

(福岡県・服部知事)

福岡県は半導体産業分野及び先進モビリティ分野における産業クラスターの形成を目指しております。半導体分野につきましては、新生シリコンアイランド九州、そして日本を牽引する半導体の最先端後工程におけるグローバル拠点の構築を目指します。目標といたしましては、今後 10 年間で 4,960 億円の官民設備投資、1,200 億円の付加価値の増加などを掲げております。

本県は、半導体微細化の限界を打破いたします。先進技術開発を支援する国内唯一の公的支援拠点「福岡超集積半導体ソリューションセンター」を有しておりまして、これを核に企業開発力の強化、先進的な産学間共同開発、高度人材育成などに取り組み、産業集積を図ってまいります。先日、リンテック社と立地協定を結びまして、約 200 億円の設備投資が決定いたしました。今後、拠点化を加速させ、我が国の産業競争力を福岡から力強く支えてまいります。

(古川政務官)

続いて、「地場産業成長プラン」です。

秋田県男鹿市の菅原市長からお願いします。

(秋田県男鹿市・菅原市長)

総理がお好きななまはげ。なまはげの里の男鹿市長です。

5 年前に醸造所を開設した「稲とアガベ(株)」は、クラフトサケを酒の新たなジャンルとして定着させた上に、関連事業を次々と立ち上げ、人口減少が進む本市の活性化を牽引しています。

この度のプランは、「稲とアガベ」を核に、酒づくりを目指す若者やスタートアップを全国から広く迎え入れ、地域の農業者や観光事業者、商工業者と一体となって、酒づくりを起点とした地域づくりを目指すものであります。

なお、プラン実現には3年前に提案している「日本酒特区」実現が不可欠であります。まずは、「日本酒特区」実現を期待しています。

(古川政務官)

続いて、オンラインでご出席されている方より、ご報告いただきます。

まず、「地域産業クラスター計画」です。

山形県の吉村知事からお願いします。

(山形県・吉村知事)

山形県は、令和5年の半導体分野の付加価値額が全国1位でした。素材、前工程から後工程、製造装置まで多様な企業が集積し、関連産業を支える要素技術の蓄積が強みであることから、半導体関連産業の更なる集積に向けて、地域産業クラスター計画を策定いたしました。

計画では、今後10年間で500億円の投資を目標に、企業誘致をはじめ、企業間連携やオープンイノベーションの創出を図り、産学官金の連携で専門人材の育成・確保に取り組んでいきますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

(古川政務官)

次に、新潟県の花角知事からお願いします。

(新潟県・花角知事)

本県は、新潟市を中心にアニメ制作会社や教育機関が多く立地し、毎年、国際アニメーション映画祭を開催するなど、発信機能も有する、アニメ産業の集積地です。

この強みを活かしながら、首都圏からアニメ制作の中核企業を呼び込み、県内制作会社との連携を強化し、共同で制作を進められる環境を構築してまいります。

国全体のアニメ人材の確保に貢献するとともに、首都圏から企業や投資を呼びこむことで、県内企業が下請けにとどまらず、自ら企画し、将来的には独自の知的財産、コンテンツIPを産み出す、新たな地方モデルを創り上げてまいりたいと思います。

(古川政務官)

次に、富山県の新田知事からお願いします。

(富山県・新田知事)

昨日発生した豪雨災害の対応のため、本日はオンラインで参加させていただ

きます。今後、国による支援についてもよろしくお願いいたします。

本県は「くすりの富山」に象徴され、医薬品産業とそれを支える周辺産業が集積しております。

その強みを活かし、高付加価値なバイオ医薬品の製造や部素材の供給基盤を結び付け、高度な医薬品製造エコシステムを形成します。

民間投資を積極的に誘発し、2030 年までの累計で、官民設備投資額 1,500 億円を目指します。

他方、官民一体での投資には、安定した財源が不可欠です。国におかれては、地域未来交付金の予算枠を確保・充実にいただくとともに、地方負担に対する十分な財政措置を講じていただくようお願いいたします。

(古川政務官)

次に、大阪府の吉村知事からお願いします。

(大阪府・吉村知事)

大阪府からは、空飛ぶクルマ・カーボンニュートラル・ロボットの3分野について認定をいただきました。その中で空飛ぶクルマの分野についてご説明いたします。

大阪府・大阪市では、大阪・関西万博における空飛ぶクルマのデモフライトの実績や、先行して整備いたしました、空飛ぶクルマの発着点である、大阪港パーティポートなどのインフラ、そして経済界が多数参画した官民協議会を活かしまして、全国初の商用運航を実現したいと思っております。

この計画では、2030 年度までに約 90 億円の官民設備投資を見込んでおり、この計画を進め、副首都をめざす大阪が「空の移動革命」を実現することで、新しい産業を生み出して、そして日本全体の成長につなげてまいります。

また、ライフサイエンスなど、残り 5 分野につきましてもよろしくお願いいたします。大阪からは以上です。

(古川政務官)

次に、岡山県の伊原木知事からお願いします。

(岡山県・伊原木知事)

本県の基幹産業である自動車産業の競争力強化を図るため、次世代モビリティへの技術転換などの施策を積極的に展開し、現行の 40% 増となる 2,041 億円の付加価値の創出と、総額 255 億円の官民設備投資を目標に、県内産業の持続的発展を強力に推進してまいります。

(古川政務官)

次に、広島県の横田知事からお願いします。

(広島県・横田知事)

広島県の自動車産業は、県経済の中核であり、全国でも有数の地域産業クラスターを形成しております。

世界での自動車産業での開発スピードが加速する中で、競争力を維持し、県内サプライチェーンの生産性を上げ、成長していけるよう、計画を策定いたしました。

地域サプライヤーの研究開発や提案力強化による付加価値の向上、A I・デジタル活用による開発コストの低減や開発スピードの改善を目指します。

この着実な推進に向けては、5年間で1,377億円規模の投資を進めることとしており、国による十分なご支援をよろしくお願い申し上げます。

(古川政務官)

次に、山口県の村岡知事からお願いします。

(山口県・村岡知事)

山口県は、経済安全保障の観点から重要な半導体分野において、世界トップシェアを誇る素材メーカーが立地するなど、全国有数の化学産業が集積をするものづくり県であります。

この強みを最大限に生かしまして、「半導体素材及び半導体製造装置部品を核とする化学産業及び精密加工産業」を対象領域として、12社の参画のもと、官民合わせて877億円の投資により、クラスターの形成を推進してまいります。

そして、サプライチェーンにおいて不可欠な地位を確立することで、「半導体マテリアルといえば山口県」と、そのように国内外から認められるように、全力で取り組んでまいります。よろしくお願いします。

(古川政務官)

次に、香川県の池田知事からお願いします。

(香川県・池田知事)

香川県は、優れた海上交通を活かしまして、古くから造船や鉄工関係などの盛んな地域です。

船舶やクレーンなどで世界的シェアを持つ企業を中心に、金属加工や溶接などの高度な基盤技術を持つ企業が多数集積して、サプライチェーンが形成されております。

この県内企業の生産拠点の増設、人材育成などの取組みについて、県として後押ししてまいりますので、国のご支援お願いいたします。その際、国の予算措置については、既存予算に上乗せして一体的に実施されるようお願いいたします。

(古川政務官)

次に、高知県の濱田知事からお願いします。

(高知県・濱田知事)

高知県は防災関連産業のクラスター計画です。

本県の強みは、過去の自然災害の経験に培われた防災技術の集積だと思っています。特に防災関係の土木技術の集積です。例えば、騒音や振動のない杭打ちができる圧入技術、あるいは下水道管の洗浄などができる強力なバキュームカー、こういったものを製造するニッチトップ企業が牽引役となっておりまして、これを中心に関連産業を伸ばしていきたい。AIなどを使った自動運転や遠隔操作の実用化、新製品開発、販路拡大を企業の方にはお願いしますし、県の方では工業団地の整備などを進めたい。これで400億円規模の官民投資を目指します。

国の方にも道路、港湾等のインフラ整備、地域未来交付金などによる支援をお願いしたいと思います。

(古川政務官)

次に、佐賀県の山口知事からお願いします。

(佐賀県・山口知事)

佐賀県はコスメです。

みなさん、世界最大の化粧品産業クラスター、フランスコスメティックバレー、御存知でしょうか。その前会長アルバン・ミュラー氏が認めた佐賀の素材豊かな自然環境、アジアに近いロケーション。ミュラー氏が佐賀県に官民連携組織、ジャパンコスメティックセンターを設置し、佐賀のコスメティック構想が始まりました。

コスメ産業には自然由来の原料、研究、デザイン、加工、物流などさまざまな要素が関係します。10年間で佐賀県内に多分野の化粧品関連企業17社が進出しています。

そして、佐賀県の化粧品生産額は倍増し、他の地域と差別化された独自の構想が今、花開いております。

佐賀大学にも国公立大学で初めてコスメ学環が開設されました。世界の市場を背景に、コスメ産業はますます飛躍する成長分野です。佐賀から世界へ。この

戦略を官民一体でさらに磨き上げて、世界の市場でメイドインジャパン、メイドイン佐賀のコスメの存在感を高めていきます。今後ともよろしくお願いします。

(古川政務官)

次に、長崎県の平田知事からお願いします。

(長崎県・平田知事)

長崎県の計画は、国内で唯一、商船、防衛、浮体式洋上風力の海洋関連産業3分野の取組が進む長崎県の産業特性を生かし、県内企業のサプライチェーンの強靱化や設備投資支援、人材育成・確保に取り組むものであり、クラスターを構成する企業の積極的な設備投資を後押しすることで、今後5年間で700億円程度の官民設備投資の実現を目指すものです。

こうした本県の取組は国益にかなうものであり、我が国の海洋関連産業を長崎県がリードしていくという意気込みをもって、計画の推進を図ってまいります。よろしくお願いいたします。

(古川政務官)

次に、大分県の佐藤知事からお願いします。

(大分県・佐藤知事)

大分県の造船業は、戦前から続く重要産業でありまして、水深の深い良港、日本製鉄の鋼材・素材、ジャパンセミコン等半導体等の先端産業が近辺に集積している強みを持っております。2036年までに県による港湾整備や人材育成等に約220億円規模、造船各社によります約200億円規模の設備投資を推進いたします。国が掲げる「2035年までの国内建造量倍増」という目標の達成に向けまして、本県がその一翼を担う決意であります。

さらに、本県は瀬戸内海に面してあります。豊予海峡を国土軸としてつなぐ構想もあります、愛媛県など瀬戸内地域の造船産業クラスターとも連携を図り、我が国の造船業の発展に貢献してまいります。

(古川政務官)

次に、鹿児島県の塩田知事からお願いします。

(鹿児島県・塩田知事)

本県は日本一のお茶の産地であり、世界的な抹茶需要の拡大を追い風に、更なる成長が期待されています。

一方で、生産された荒茶の多くが県外で加工・販売されており、地元に付加価

値が十分還元されておられません。

生産者の所得向上をはかり、担い手の確保、生産基盤の維持を図るため、今後 10 年間で 400 億円以上の官民投資を呼び込み、てん茶・抹茶加工施設の整備や販路開拓等を進め、生産から加工、販売、輸出までを県内で担うサプライチェーンへ転換してまいります。

産地が稼げる仕組みを構築し、日本の茶産業の持続的な発展につなげてまいりますので、国の力強い後押しをお願いいたします。

(古川政務官)

続いて、「地場産業成長プラン」です。

新潟県長岡市の磯田市長からお願いします。

(新潟県長岡市・磯田市長)

長岡市は、長岡花火に次ぐ、新たな観光コンテンツを実現するべく、酒・味噌・醤油作りなど醸造文化と多数の登録有形文化財を有する「撰田屋・宮内地区」の観光拠点づくりに取り組んでまいります。

今後、この計画によって官民投資を推進し、県外からの誘客やインバウンドの受け皿となる魅力的な観光拠点施設を作って、その効果を周辺地域に波及させることによって、地域経済の成長と広域観光への寄与を目指してまいります。以上であります。よろしくお願いします

(古川政務官)

次に、宮崎県の河野知事からお願いします。

(宮崎県・河野知事)

宮崎の本格焼酎は、12 年連続で出荷量日本一を達成しておりまして、本県の強みであるフードビジネスの重要な柱になっています。

人口減少など国内需要が変化する中で、海外市場を「成長エンジン」に据えた、付加価値の高い産業構造への転換を目指しています。

プランの柱は、現地アンバサダーの育成や、カクテルでの利用促進など、世界のトレンドを捉えた「4つの勝ち筋」です。

しっかりと 2035 年には輸出額を 15 億円まで引き上げ、本格焼酎を「世界の宝」へと育て上げ、本県経済の新たな飛躍を牽引していきたいと考えております。以上です。

(古川政務官)

ありがとうございました。

続きまして、黄川田大臣より地域未来戦略予算パッケージの報告をお願いいたします。

(黄川田大臣)

「地域未来戦略予算パッケージ」について、ご報告いたします。

資料3をご覧ください。7月21日に閣議決定された「地域未来戦略」における「予算のイメージ」に基づき、予見可能性の高い複数年度での特別枠として措置するものを、今般、「地域未来戦略予算パッケージ」としてまとめました。

「日本成長戦略」との連携の下、産業クラスターの形成や、地場産業を含む地域経済の持続的な成長を図るにあたり必要な、インフラ整備や幅広い企業向け支援、人材育成等に係る予算措置の考え方を整理したものです。

この予算パッケージのもと、既存の予算とは別枠かつ追加的な予算を設けることで地域未来戦略を推進するための各省調整を年末に向けて進めてまいります。

(古川政務官)

ありがとうございました。

それでは、各副大臣・政務官からご発言をいただきたいと思います。

(岩田内閣府副大臣)

今回、新たな産業クラスター計画及び地場産業成長プランが追加されるとともに、「地域未来戦略予算パッケージ」が報告されましたが、強い地域経済の構築に向け、今回の取組を含めた「地域未来戦略」に基づく積極的な支援を行っていくことが重要と考えています。

特に、「戦略産業クラスター計画」については、先行事例が追加され、引き続き日本成長戦略の17の戦略分野における官民連携投資の具体化・加速につながるものとして大いに期待しています。今後、日本成長戦略はPDCAサイクルを通じて施策のブラッシュアップを進めていくため、こうした取組で顕在化する課題や知見も共有いただき、投資の実効性を高めてまいります。

(高橋総務副大臣)

本日、新たに「戦略産業クラスター計画」、「地域産業クラスター計画」及び「地場産業成長プラン」が報告されました。また、黄川田大臣より「地域未来戦略予算パッケージ」として、予算要求の考え方をお示しいただきました。

総務省としても、地方公共団体をはじめ、チャレンジする皆様を応援していくため、関係各省の皆様とも連携して、しっかりと取り組んでまいります。

(中村文部科学副大臣)

地域未来戦略の推進及び各地域の産業クラスター計画や地場産業プランの実施にあたっては、それを支える人材が重要です。

文部科学省としては、重点分野に係る大学等の体制・機能強化や、運営費交付金等の基盤的経費の大幅拡充、17 の戦略分野等をけん引する産学協働で行う研究開発と一体となった研究者・技術者育成、成長分野等におけるリ・スキリングのための教育プログラムの開発、高等教育の規模の適正化を図りつつ地域の産業ニーズを踏まえた人材育成等の推進、地域で必要な人材の育成に向けた専門学校における教育の充実への支援、専門高校を含む高校教育の振興による地域の産業ニーズに即した人材育成の強化、文化芸術分野・スポーツ分野の人材育成、などの予算要求を行う予定であり、地域未来戦略や 17 の戦略分野をけん引し、成長の源泉となる人材育成に広く貢献してまいります。

(根本農林水産副大臣)

農林水産省としては、地域未来戦略を踏まえ、食料安全保障の確保に向け全ての田畑を活用しつつ、食の分野を我が国の稼ぎの柱とするとともに、地域資源を活かした地場産業の成長を通じ、地方に活力を取り戻してまいります。

本日、報告された計画では、農林水産分野に関し、鹿児島県の抹茶生産に適した優良品種への改植や、てん茶・抹茶加工施設の整備、高品質な茶の輸出拡大など、付加価値向上の取組が盛り込まれたところであります。

地域未来戦略の目標の実現に向け、今回とりまとめられた「地域未来戦略予算パッケージ」の活用も含め、販路拡大やサプライチェーン構築の推進など、地方農政局や各府省庁の地方支分部局と連携し、計画の実行を後押ししてまいります。

また、引き続き、大胆な計画実現を目指す地方公共団体をソフト面でも伴走支援し、現場主義で地域ごとのオーダーメイドの取組が進むよう努めてまいります。

(山田経済産業副大臣)

今般、戦略産業クラスター計画として、新たに九州地域における次世代船舶クラスター計画を策定いたしました。策定に当たり関係各位には多大なご協力をいただき感謝申し上げます。

先月策定、公表した計画とあわせて14の「戦略産業クラスター計画」の実行に全力で取り組んでまいります。さらに、PDCAメカニズムの着実な実施や、新たな計画の策定にも各経済産業局、関係省庁と連携しつつ取り組んでまいります。

本日晒された「地域未来戦略予算パッケージ」を踏まえ、クラスター形成に必

要なインフラ・拠点整備、サプライチェーン投資、人材育成等を一体的に進めていくべく、経済産業省として、必要な予算を要求してまいります。

今後も関係省庁、関係自治体と緊密に連携し、各経済産業局と共に地域未来戦略の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。

(佐々木国土交通副大臣)

地域の未来を支える「産業クラスター」実現のため、国土交通省としても、「戦略産業クラスター」、「地域産業クラスター」等に関連し、必要となるインフラ及び拠点整備等の推進を図るため、「戦略産業クラスター等の形成に資するインフラ整備等の推進に必要な経費」について、事項要求を行っております。

今回公表された戦略産業クラスター計画についても、九州地方の造船産業に関し、生産能力の増強に係る支援を行うほか、資機材輸送に係る港湾・道路整備等の関連インフラ整備を着実に進め、次世代船舶の供給力強化につなげてまいります。

また、今回公表された地域産業クラスター計画及び地場産業成長プランについても、地方整備局や地方運輸局を通じた現場との連携の下、具体化を支援してまいります。

(高橋財務大臣政務官)

本日は、黄川田大臣より「地域未来戦略予算パッケージ」として、今回の予算要求の考え方をお示しいただきました。

こうした地域未来戦略に関する予算のあり方については、これまでの課題や成果を踏まえつつ、一層効果的な施策の実現のため、パッケージの具体化の検討とあわせて、これからの予算編成過程にて、内閣府ほか関係各省と、しっかり議論してまいります。

(古川政務官)

それでは、本日の報告を踏まえ、高市総理より、ご発言をお願いいたします。

(高市総理)

本日お集まりの知事、市長の皆様、リモートでご参加いただきました皆様、大変意欲的な『地域産業クラスター計画』や『地場産業成長プラン』をご説明いただき、誠にありがとうございました。

- ・「地域における官民投資の規模」
- ・「産業集積の程度」
- ・「付加価値の増加を生み出す新たな取組の内容」

といった、地域のこの計画の「要件」を満たすことについて、「地域未来戦略

本部事務局」の確認を経たものと聞いております。

また、黄川田大臣からは、九州地域における「次世代造船」に関する新たな『戦略産業クラスター計画』を報告してもらいました。

それぞれの計画からは、地域ならではの強みや技術、人材、そして、「産業クラスター」の形成に向けた、関係する自治体の皆様の強い決意が感じられ、大変頼もしく思っております。

本日黄川田大臣がお示した『地域未来戦略予算パッケージ』は、日本全国で策定が進む「三類型」の計画の羅針盤として、

- ・地域の未来を支える「産業クラスター」の実現に必要な「インフラ整備」や、
- ・クラスターを支える民間事業者向けの幅広い「投資支援」や「人材育成」

をスピード感をもって実現していくための、国としての支援策を一覧するものでございます。

その上で、自治体の皆様が、

- ・本日までに報告された計画の複数年度の実施や、
- ・自治体の産業クラスター計画の立案・策定

を今後進めていかれるに当たっては、国が複数年度にわたって十分な支援を行うことについての「予見可能性」を、自治体や関係事業者の皆様にお持ちいただけるようにする必要があります。

黄川田大臣においては、本日晒された「予算パッケージ」や、これまでに策定された計画の内容を踏まえて、計画策定済の自治体の意欲と決意に応えるとともに、それに続くほかの自治体による計画策定の弾みとなるよう、「国の支援の予見可能性」を担保するとともに、事業規模や予算額について複数年度で具体化し、年末までに『地域未来戦略実現フレーム』を策定してください。

具体的には、

- ①「複数年度の予算措置」を担保する方法
- ②自治体の負担に配慮した、「地方財政措置の在り方」
- ③計画の実行に必要な「インフラ整備」が、優先的かつ計画的に措置されるための仕組みや、既存の予算とは別枠の「地域未来特別枠」での追加的な予算措置
- ④中小企業庁を始めとする各府省庁の企業向けの投資支援策や、文部科学省を始めとする各府省庁の人材育成策が、『地域未来戦略』に資する取組に優先的に措置される「地域未来分」

の4点を含む内容としてください。

今後も、「三類型」の計画は、随時、受付、公表するとともに、策定された計画の内容を『実現フレーム』の検討にも活用することで、支援の在り方をより効果的にしていくということとともに、ほかの自治体の計画策定、産業クラスターの形成に資するものとしてまいります。

本日お集まりの自治体を代表する皆様、また、日本全国で計画策定を進めておられる自治体の皆様、政府と二人三脚で、日本列島に「産業クラスターの花」を咲かせてまいりましょう。お疲れ様でございました。ありがとうございます。

(古川政務官)

高市総理、ありがとうございました。

ここで、報道機関の方は、退出をお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、会議を終了させていただきます。

ありがとうございました。

以上